

令和8年度 第53回沼津市芸術祭
書道展審査結果報告

◇ 書道展

	点数
審査員作品	3点
招待作品	3点
委嘱作品	18点
一般公募作品	46点
一般公募(高校生)	12点
合計	82点

◇ 審査日 令和8年10月6日(火)
◇ 審査員 和田 孝之 岩原 幸玉 風岡 将平

芸術祭賞1点、市長賞1点、市議会議長賞1点、教育長賞1点、奨励賞5点、新鋭賞3点
本年は高校生から12点の出品があり、3点が新鋭賞として入賞した。

	題 名	氏 名
芸術祭賞	『一緒に』	加藤 操
市長賞	『王維詩』	貴家 琴乃
市議会議長賞	『北原白秋 詩』	青山 慎一郎
教育長賞	『飛』	田林 恵山
奨励賞	『伊藤左千夫の歌』	長坂 天真
奨励賞	『flow』	戸塚 仁美
奨励賞	『華』	増田 誠永
奨励賞	『皇甫冉詩』	田村 恵翠
奨励賞	『王漁洋詩』	杉山 真翠
新鋭賞	『臨 光明皇后楽毅論』	桶井 柚奈
新鋭賞	『臨 龍門二十品 孫秋生造像記』	安齋 みな花
新鋭賞	『臨 自書告身』	若林 志保

総評

本年の沼津市芸術祭書道展には、一般公募から招待・委嘱作品に至るまで、各部門に多彩で熱気あふれる力作が寄せられました。

会場を見渡すと、長年研鑽を重ねた深みのある表現から、日々の生活の中で書と真摯に向き合う温もりある作品まで実に幅広く、書への情熱がひしひしと伝わります。空間構成や点画の潤渇、肥瘦の変化に工夫を凝らした跡からは、作者の誠実な創作姿勢が感じられ、大変見応えのある審査となりました。

特筆すべきは、未来を担う高校生による力作です。若い世代ならではの瑞々しい感性と底知れないエネルギーは、本展に心地よい活気と新しい風をもたらしてくれます。受賞作品には、古典の臨書で培った基礎力の上に、若さの勢いだけではなく確かなこだわりが垣間見えました。若い世代が書の奥深さに魅せられ、表現の喜びを実感していることは、地域の書の未来にとってこの上なく心強いことです。

結びに、ご出品いただいたすべての皆様の熱意に深く敬意を表しますとともに、本展が書の魅力を再発見し、次なる創造への確かな一歩となることを心より願っております。

審査短評

芸術祭賞『一緒に』加藤 操
中央に力強く展開される多彩な線が、上から下へ躍動的に流れる。題名が示す温かな連帯感と互いの鼓動が豊かに表現された作品。

市長賞『王維詩』貴家 琴乃
墨の潤渇、筆圧の変化から生まれるコントラストが美しい。連綿のリズムが心地よく、古典の素養を感じさせる気品ある力作である。

市議会議長賞『北原白秋 詩』青山 慎一郎
直線を基調とした凛々しい運筆が光る。文字の大小や墨の潤渇の対比が鮮やかで、空間に広がりを感じさせる。

教育長賞『飛』田林 恵山
大胆な構図と力強い筆致が空間に豊かな広がりを生み出している。墨の濃淡の変化も美しく、素材の持ち味を最大限に引き出した。